



国宝松本城

太鼓まつり

毎年、この

7月1日現在の中山	
世帯数	1,369
人口	3,393
【問い合わせ】 中山公民館報編集委員会 58-5822	

夏の暑さが本格的になってきた7月28日、29日に第31回国宝松本城太鼓まつりが開催されます。

松本城本丸庭園メインステージの他、松本駅お城口広場、大手門枳形跡広場での演奏が行われ、和太鼓の響きに包まれる2日間です。

この太鼓まつりに、昨年30周年を迎えた中山太鼓連が今年も出演します。松本地域の団体はもちろん、県外からも多数の団体が参加するほか、プロチームがゲスト出演する全国規模のレベルが高い演奏会の一つです。そして初日、本丸庭園メインステージのトップを飾るのが、中山太鼓連です。

ここ何年かは、大人だけで演奏していましたが、今回、久々に子ども太鼓のメンバーも出演することになりました。



か自分達もこのステージに立ちたいという強い思いがありました。地区行事で演奏する子ども達の姿は感動を覚え、聞く人を楽しませてくれます。

今回、子ども達と一緒に演奏するにあたり、中山太鼓連会長の田上さんは、「子ども達の成長もあるが、松本城で叩きたいという熱い気持ちを叶えてあげたかった。」そして、「中山太鼓連は発足以

来、太鼓を打ちたい人は誰でも受け入れてきた。そして自分達はもちろん、聞いてくれる人、応援してくれる人と一緒に楽しめる演奏を大事にしている。松本城では、中山太鼓連の歴史、チームらしさを伝えたい。チームとしての一体感。そして観客との一体感を感じられる演奏をしたい。」と話してくれました。

子ども達も「ドキドキする。緊張するけど、嬉しいし楽しみ。」と練習に励みます。本番に向け、曲練習はもちろん、ステージを華やかに見せるためには、皆で楽しむために等意見を出し合い創りあげていきます。松本城では、こうして創りあげた太鼓の響きが、観客の体と心に伝わることを願います。



花いっぱいぞうきん

埴原北町会
県道沿いに今年も植栽

きれいな花で道行く人に和んでいただこうと、社会福祉協議会埴原北分会では6月16日に県道沿いの中山線中山小学校バス停と和泉バス停の間にある町会花壇の植栽を行いました。

埴原北町会の花壇は全国花いっぱい運動の発祥の地である松本市の花いっぱい事業50周年に合わせて平成19年に設置され、毎年花の植栽と管理を町会の景観事業として実施しています。当日は霧雨のなか午前7時

に、分会役員約25名が参加して花苗300本の植栽と除草を行いました。植えた花苗は、「ブルーサルビア」、「日草(ニチニチソウ)」、「千日紅(センニチコウ)」の3種類で、いずれも春から秋にかけて次々と花を咲かせて長期間楽しめる花々。すでに植えられている「あやめ」、「ひまわり」と共に、自然豊かな中山の中央を走るメイン道路に文字通り花を添えます。

洞澤分会会長は「中山の県道も年々交通量が増してきています。きれいな花で心が少しでも和み、ゆとりにつなげてもらえたら。先輩方が築いてきた想いを引継ぎ、分会みんなの力でこれからもいっぱい花を咲かせていきたい」と話していました。

シリーズ 中山小学校
わたしたちの
クラス紹介

今回から、地域の宝である中山っ子のクラスを紹介いたします。

初回を飾るのは、今年入学したばかりの1年生のみなさんです。男子10名、女子8名の計18名。素直で明るく元気な子どもたちです。

担任は田中久美子先生。中山小学校は2年目で、1年生の担任は5年ぶりだといいます。教師歴20年以上のベテラン先生です。



教室の中へ入ると大きな横造紙にたくさんの手形が押され、真ん中に「いつもここにこなかよしくみ」と合言葉が書かれ、貼られています。これは、学級PTAの親子レクリエーションで作成したものだとい、とても印象



的でした。

授業では生活の時間に庭へ出て、一人一人鉢に植えたアサガオを観察して葉の数を数えたり、世話をしていました。何色の花が咲くか楽しみですね。

子どもたちに聞きました
田中先生はどんな先生ですか？

「優しいよ!!でもたまに怒ると怖いよ!!」

先生に聞きました
子どもたちへの願いはなんですか？

「人の気持ちかわかる優しくて芯の強い人間に育ってほしいと思います。」

豊かな自然に恵まれ、まだまだあどけない笑顔の子どもたちと、優しく温かい田中先生からお話を聞くことが出来ました。

父ちゃんの出番ですよ!

6月26日(火) 9時30分より、中山福祉ひろばにて男性のための講座、「燻製作り」が行われました。

夏のビールを美味しく飲むために、企画されたそうです。

埴原北町会の小笠原力男さんを講師にお招きし、11人の男性が参加しました。

家庭で簡単にできる方法ということで中華鍋を使って燻製をしました。講師より簡単な説明を聞いた後、桜のチップを使い、チーズや竹輪、かまぼこ、ナッツをスモークしました。

初心者がほとんどで、皆さんいっぴくに真剣なまなざしです。桜のチップから思うように煙が出なかつたり、焦げてしまつたり、悪戦苦闘の末、それは美味しい、燻製ができあがりました。

地域づくりコーディネーターの中山さんは、地域で燻製を食べながら、ご近所さんを誘ってビールを飲み、個々が地域で繋がり、広がっていくと嬉しいと話されていました。

講座は内容を変えて8月、10月、12月にも企画されています。



美味しい燻製が出来ると、参加者には滅多に見ることの出来ない満面の笑みが広がり、「これは楽しいよ」という声も聞かれました。会場は大きな笑いとお歓声に包まれ、とかく女性のパワーに押されがちな男性ですが、女性にも劣らない男性の底力を感じました。

殿方の愛しい姿を是非ご家庭の奥様にもご覧入れたかった：そんな事を思いながら、取材を終えました。

今年の夏は各家庭で、ご主人様方がきつと美味しい燻製を作ってくれることでしよう。そしてビールの味も最高ですよ。

後も大勢の男性の参加を期待したいと思えます。

7月1日(日)開催
平成30年度 中山地区
町会対抗体育大会競技結果

- 軟式野球
 - 優勝 和泉 準優勝 埴原南
- ソフトバレー
 - 優勝 埴原北 準優勝 和泉
- 卓球
 - 優勝 埴原東 準優勝 和泉
- ゲートボール
 - 優勝 埴原北 準優勝 和泉
- マレットゴルフ
 - 優勝 埴原南 準優勝 棚峯



最近、5歳の幼い女兒が、両親から虐待を受け、亡くなってしまった、悲しいニュースを何度となく思い出す。「助けてあげられなくて、ごめんさい」：助けられなかった原因をしつかり検証し、同じ過ちを繰り返さない社会になる事を切に願うばかり。我が子がこうして元気で生きている事が奇跡の積み重ねだと思える。感謝、感謝。(M・S)